

2025～2026年度 事業計画

S.A.A

担当理事：松岡功太郎

◎松岡功太郎 ○味方 信彰 澤 英次 上田 晋三 中野 循雄 安藤 昂紘
山崎 駿介

1. 例会の進行を円滑に行う。厳粛のなかにも明るく楽しい会場設営を心掛ける。
2. 会長、幹事、関連委員会と連携し、スムーズな例会運営をする。
3. 例会の司会進行を順番制とし、S.A.Aのタスキをかけ会場監督をする。
4. 第一例会は、会員同士の懇親を図るため席を抽選とする。
5. ゲスト、ピジター、講師（会長と同テーブル）を席までご案内する。
6. 県外からのロータリアンはバナーを贈呈し、簡単に挨拶していただく。
7. ゲストスピーカーの時は、卓話終了時にスタンディングオベーションをする。
8. 司会担当者は、司会席近くのテーブルに着席する。

会員増強維持

担当理事：佐藤 真介

ロータリー情報委員会

◎河崎 順昭 ○大宮 一真 宮川 忠和 佐藤 真介 品田 史夫 上田 晋三

1. 当クラブ派遣の地区役員より、地区活動を報告していただく。
2. 地区の動向・行事などのロータリー情報を例会で伝える。
3. ロータリー月間の月テーマを担当委員会から話していただく。
4. 入会3年未満の会員・理事役員で炉辺会合を開催し情報交換と親睦を図る。

会員増強委員会

◎安藤 幸夫 ○保莉 玲子 松岡功太郎 薄田 豊 品田 正嗣

1. 10名純増、80名を目標とします。
2. プロジェクト80と協力して活動します。
3. 年2回の卓話の時間を活用させていただきます。
4. 会員全員で増強の機運を高め、目標達成しましょう。

職業分類・会員選考委員会

◎高橋 英樹 ○後藤 真介 石川 昇

1. 職業分類
現行の職業分類の見直し、未充填職業分類の作成を行う
2. 会員選考
会員推薦者より被推薦者の職業人としての評価を聞く。また、会員としてロータリー活動が十分に行えるかを聞き取り、検討して委員会の意見を理事会に報告する。

クラブ広報

担当理事：畑 舞子

広報・会報雑誌委員会

◎畑 舞子 ○古川喜代志 金子 康弘 スティーブンソン・アロソ

1. 例会の活動内容を「新潟東ロータリークラブ週報」として記録し、WEBサイトに掲載する。
 - ・週報は個人情報の観点から会員限定ページでの公開とする。ただし、入会希望者又は新会員への情報発信の場として活用するため、入会希望者にはIDを発行して閲覧していただく。
 - ・WEBサイト掲載内容の確認（例会・各行事の写真・映像の撮影）
 - ・各活動の写真・映像の撮影
2. ロータリー活動の各種行事は各委員会と連携して広報を行う。
 - ・インターアクト年次大会および献血呼びかけキャンペーン（青少年奉仕委員会）
 - ・職場見学（職業奉仕委員会）
 - ・蒲原まつり「福祉ふれあい広場」（社会奉仕委員会）
 - ・人材育成プロジェクト（新風会）
3. ロータリーの友の概要を第4例会にて紹介する。

クラブ管理運営

担当理事：品田 史夫（ニコニコBOX、親睦、出席管理） 大宮 一真（プログラム）

ニコニコBOX委員会

◎本間健一郎 ○齊藤 弘樹 北村 慎一 薄田 豊 宮本 武弥

1. ニコニコBOXの意義と浄財の使用目的を伝えます。
2. 原則 一口2,000円 毎回6名以上を目指します。
3. 寄付目標 年間 1,000,000円を目指します。
4. 毎月第3例会で前月のニコニコの中から月間賞を発表し、誠意として会長よりお花を贈呈させていただきます。

親睦委員会

◎品田 史夫 ○金子 将太 ○佐藤 寿彦 田淵 展子 後藤 真介 中静 朝子
羽賀 浩 品田 正嗣 松宮 郷 齊藤 弘樹 安藤 昂紘 本間 亮
山崎 駿介 鈴木美喜子 田村美知代 西田 泰士 山田 育永 渡辺 澄子
中川 美和 野口 敦弘 高橋 孝 小宮山 巨 青木 雄太 横山康之介
鈴木 公雄 石添 宏

1. 基本方針
主な親睦活動の対象を会員相互・来訪者・他クラブ・会員家族とし、親睦を通したロータリーの価値の伝承、奉仕の理想を育み、加えて会員の定着を図ります。
2. 主な事業

①通常例会

会歌の順番、ソングリーダー、記念日の発表（委員会メンバー全員で対応）
第一例会の座席くじ引き、月末例会の健康ランチを実施します。

②ファイヤーサイドミーティングの運営

③新入会員歓迎会

④納涼夜例会

入会見込・希望者の参加を募り入会を促進します。会員増強委員会と連携します。
会員相互の親睦を図る場とします。

⑤会員・家族新年会

会員及び御家族も参加いただき、新年を祝うと共に相互の親睦を図る場とします。

⑥納 会

⑦地区大会への参加

⑧他クラブメイクアップ

新潟市内7RCを中心にメイクアップを行い他クラブの例会を研修します。また、
クラブ・会員相互の交流を目的とします。

3. 詳細事項

①記念日の発表：第一例会「メンバー誕生日」、第二例会「会社の創業記念日」

②会歌の順序	：第一例会	君が代	／	奉仕の理想
	第二例会	我らの生業	／	世界の友と
	第三例会	それこそロータリー	／	すばらしき仲間
	第四例会	四つのテスト	／	世界の友と
	第五例会	ROTARY		

出席管理委員会

◎河端 信雄 ○野沢 慎吾 五十嵐忠司 志田 常弘

1. 出席率目標を90%とする。
2. 100%出席例会を計画する。
3. 新しいメンバーが増えており、欠席しないよう他の委員会と連携してクラブ全体フォローする。

プログラム委員会

◎水本 孝夫 ○片山 政博 肥田野正明 田淵 展子

1. ロータリーの理解を深める卓話（ロータリー月間に合った内容）
2. 新入会員の卓話（自己紹介、会社紹介）
3. 歴代会長の、会員の為になる卓話（ロータリーと新潟東クラブへの理解が深まる）
4. 広く業界・地域社会を知り、奉仕に対しての理解を深める
5. 重点活動（ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがた）に関する卓話
6. 地域や世界の動向に関する卓話
7. その他

奉仕プロジェクト

担当理事：金子 将太（職業奉仕、社会奉仕） 品田 正嗣（青少年奉仕、国際奉仕）

職業奉仕委員会

◎須田 寛子 ○井上 陽一 村山 六郎 本間 亮

1. 例会場に「四つのテスト」を掲げ、月1回例会で斉唱する。
2. 会員が営む事業の紹介を主とする卓話の実施により、会員が営む事業について理解を促進する。
3. 職場見学会を実施し、企業訪問を通じてロータリアン各自の職業奉仕意識を高める。
4. 職場見学会を活用し、会員増強にも繋げる。

社会奉仕委員会

◎金子 将太 ○中川 一広 山田 克明 金子 康弘

1. 小規模作業所「のんびーり」への支援 継続（物品購入）
2. 新潟少年硬式野球連盟（シニアリーグマイナー）への支援事業継続
3. 蒲原まつり「福祉ふれあい広場」への支援 継続（買い物支援）

青少年奉仕委員会

◎安達 博 ○池田江里子 那須野幸作 後藤 みき

1. インタクト委員会
 - ・年次大会への参加
 - ・年末献血呼びかけキャンペーン支援・参加
 - ・古切手の収集と敬和学園高校への提供
2. ライラ委員会：ライラ研修への参加
3. ローターアクト委員会：年次大会への参加

国際奉仕委員会

◎品田 正嗣 ○古川喜代志 前田 穰 神田 忠明 松宮 郷

地区が一年交換事業を行うものとして委員会活動を行う。

本年度は一年交換派遣はありません。

短期交換、学生の受け入れはありません。

敬和学園高校に挨拶及び派遣学生の有無の意向調査を行う。

2026-2027年度において受入学生がいる場合、受入学校の敬和学園高校との連絡、打ち合わせ、ホストファミリー先の確保等を計画する。

ロータリー財団

担当理事：羽賀 浩

ロータリー財団委員会

◎羽賀 浩 ○澤 英次 中静 朝子 石本 靖朗

1. ロータリー財団への寄付

- ロータリー財団寄付 : \$ 200 / 1 会員
- ロータリーカード加入 : 10名増
- ポリオプラス寄付 : \$ 30 / 1 会員

2. ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがたへの支援

- 病気と向き合う子どもたちとそのご家族のために滞在施設の環境整備の支援
- クラブHP、メディアへの広報活動を行うことでより多くの寄付につながることを目指す
- ドナルド・マクドナルド・ハウスにいがたへのヒアリングによるニーズの確認と目録の贈呈

米山奨学

担当理事：上田 晋三

米山奨学委員会

◎上田 晋三 ○寺嶋 一夫 池田 毅 宮本 武弥

1. 本事業は将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する留学生を奨学することでロータリーの良き理解者となり活動を広めていただく留学生を支援・育成する。
2. この事を会員によく理解していただき、多くの寄付が集まるように次の活動を行う。

米山奨学金事業の情報提供

米山奨学生の現状報告

3. 寄付要請活動

1 会員 2 万円の目標

寄付状況を報告し寄付を呼びかける。

人材育成プロジェクト 新風会

◎古川喜代志 ○安達 博 品田 正嗣 安藤 昂紘 前年度新入会員

野澤 修 長北 喜大 安藤 幸夫

～名前のとおり新たな風を吹き込み活発で楽しく有意義な人材育成プロジェクト～

- 本委員会は将来の若手リーダー及び既存会員も含めた人材育成とそれを通しての会員増強、更に新潟東ロータリークラブ発展に寄与する会である。
- 活動内容として啓発セミナーを開催する。
- 年度内に一回程度は開催する。
- セミナー終了後に懇親会を実施予定。
- 参加人数を 40 名以上想定。
- セミナーに参加されたロータリアン以外の方々とのご縁を大切に先々ロータリーのメンバーとなっただけのようにセミナー以外の交流の場を検討する。
- 例えば例会の参加、イベントの参加やゴルフコンペの参加等懇親の機会を増やしていつて新規入会候補者の分母増加を図る。